



発行 :東北支部北河内地区広報活動地区育成委員会

TEL:06-6965-9999 FAX: 06-6965-2468 touhoku-info@truck.or.jp

地方創生臨時交付金

令和4年8月31日水曜日、中島支部長は大東市の東坂市長に地方創生臨時交付金で、燃料高騰で苦しむ当業界への支援して頂くことを訴え、要望書を直接手渡しした。



中島支部長

東坂市長



要望書

大阪市へは本部が中心となり、この支給要望活動を展開しているが、東北支部管内においては、下記の表の通り各市へ支援の要望をした。なお茨木市においては、市内に物流施設やトラック事業者が多いことから既に支援を決定している。その内容は、1事業者当たり30万円を上限とし、事業用中型・大型トラック1台につき3万円を支給するというもの。各市においても先行する茨木市と同等もしくはそれ以上の支援が、切望されるところである。(K.N)

8月8日(月曜日)	四條畷市	8月24日(水曜日)	交野市
8月29日(月曜日)	守口市	8月29日(月曜日)	門真市
9月13日(火曜日)	寝屋川市	9月13日(火曜日)	枚方市

支部・緊急輸送訓練を実施！

令和4年11月26日（土）、東北支部は、門真市が実施する「総合防災訓練」のプログラムの一つとし、輸送訓練を実施した。

同訓練は午前10時10分より開始。松元副隊長の指揮の下、集結訓練（点呼）・車両点検・積み込み訓練を門真市役所第2駐車場にて実施した。その後集結した3両は市民プラザに向けて出発。到着後、各ドライバーは本部に連絡、そして総合体育館へ向け再び出発した。



総合体育館では、一般市民が簡易ベッドの組み立て等の講習を受講しており、この総合防災訓練の中では、東北支部は避難所となる体育館に緊急物資に見立てダンボールを搬入する役を担っていた。（K.N）

協力出動車両

- 1号車 ～ (株)オーティロージサービス
- 2号車 ～ 摂津倉庫(株)
- 3号車 ～ (株)ロードカンパニー

かたのにぎわいフェスタにも出店しました！



かたのにぎわいフェスタ 2022 の今年のテーマは、「交野万博」で、音楽、グルメ、体験等の楽しさが盛りだくさんの一大イベントです。

令和4年10月29日（土）、晴天の中、「交野のにぎわいフェスタ」が開催され、盛況で沢山の人が訪れていました。

トラック協会からも1ブースと4トンウイングトラックの展示を行ない、子供たちに運転席と荷台に乗ってもらう体験をしてもらいました。子どもたちは大喜びでハンドルを動かしたり、荷台を駆けまわったりしていました。（Y.K）

※↓下記「交通安全教室」も開催！



らっ腕社労士が説く‘2024年問題’は問題ですか？

パパ育休・最低賃金についても解説します・・・



<ポイント> ①時間外労働時間の上限規制 960 時間 (罰則付き)②改善基準告示の見直し(規制強化)③時間外労働に対する割増賃金率の変更 ④男性の育児休業 (産後パパ育休)⑤最低賃金 992 円→1023 円(31 円アップ)2022 年 10 月 1 日から⑥パワーハラスメント ⑦年次有給休暇をめぐる諸問題⑧同一労働同一賃金

令和4年9月27日(火)大阪府トラック総合会館 6Fに於いて、社会保険労務士 津田英人氏を講師として招き、中央・北大阪・東北支部合同で労務問題研修会が開催されました。講演のポイントは上記の①～⑧で、発表されたばかりの改善基準告示の改正案や労働時間管理の重要性をわかりやすく説いて頂きました。

①2024年4月より法律が変わり自動車運転者の時間外労働時間の上限960時間になります。違反した場合には、6か月以下の懲役または30万円以下の罰金という罰則が付与されます。残業時間960時間(月80時間)は一般企業では過労死ラインの水準。残業時間規制は年単位での規制であるが、労働時間管理・把握が重要になる。残業時間削減に向けて、待機・順番待ち・積込作業時間等の削減の交渉も必要ですが、一番の問題は、残業時間が制限されることにより給与が減少するドライバーが出てくること。人手不足の中、ドライバーの流出を防ぐために、給与の制度・賃金規定の改定が必要になることも想定されます。②2024年4月より改善基準告示の見直しが実施されます(①の上限規制と同時に実施)。年間の拘束時間は3,516時間より3,300時間に、1ヶ月の拘束時間は原則293時間(最大320時間)が284時間(最大310時間)に、休息期間も継続8時間が継続11時間を基本とし9時間下限に変更される。残業時間年間960時間(月80時間)の残業時間は、トラック運送業界では普通でも他業種ではあまり考えられない水準であるという認識が必要。③2023年4月より月60時間超える時間外労働は割増率が50%になります。また未払い賃金の時効が2020年4月以降2年から3年に変更されています。今後時期は決まっていないが5年に変更されます。今後、未払い賃金・未払い残業の請求の増加が懸念されます。労働時間管理がますます重要になります。④2022年10月より出生時育児休業が施行。育休を取得するには2週間前迄に申し出が必要。子供が生まれて8週間の内、4週間取得(2週間毎の分割可)できます。近年、スマートフォン等で情報の入手が容易になっています、労働者の権利として認識しておくことが重要。育児ハラスメントにならないよう気を付けましょう。育休を取得した場合、[出生時育児休業給付金]が適用されます。事業主に義務付けられている事項には、育休取得の申し出がしやすい職場環境の整備と対象労働者への個別周知があります。⑤最低賃金992円→1023円(31円アップ)2022年10月1日から⑥2022年4月から中小企業にも施行。⑦年次有給休暇5日間の強制付与(2019年4月より施行)に伴い、年次有給休暇管理簿の作成と保存が必要。⑧正社員と非正規社員の労働条件を比べるもの。〇〇手当の支払い理由。と非正規社員に支払われない場合の理由。

<まとめ>2024年問題とは、拘束時間の制限・残業時間960時間超働いている労働者(他業種と比べ長時間労働)の流出(労働時間減少に伴う給与の減額の為)にどう対処するかという側面が大きいと言える、と津田氏は締め括られた。(H.S)



(於:ANA クラウンプラザホテル大阪)

「ミヤネ屋」「かんさい情報ネット ten.」等で、お馴染みの髙原弁護士（フォーゲル綜合法律事務所）を講師に迎え「整理してみよう！経営が“少し”楽になる法律知識」というタイトルでの研修会と久しぶりの交流会を開催しました。前半の研修会では2024年問題をはじめ、時間外手当対策、解雇詐欺、賃金体系、パワハラ対策、トラブルを防止する就業規則、従業員を大切にする施策等を幅広く講師から教えて頂き、とても有意義でした。

(Y.K)

◆9・16 中環をきれいにする日

『大阪中央環状線』は、大阪の産業・経済活動を支える大動脈として、重要な役割を担っており、我々トラック運送事業者にとっても“職場”とも言えるメインストリートです。ポイ捨てによる沿道環境の悪化が目立ち始めた昭和60年に『中環をきれいにする日』を定め、以降、トラック協会もその趣旨に賛同し、美化・啓発活動を行ってまいりました。新型コロナの影響で3年ぶりとなりましたが、支部役員・青年協議会役員を中心に、

イオンモール大日を起点に沿道の清掃活動を行い、道路美化活動や公共マナー向上の啓発活動を実施することができました。(Y.T)



◆10・2 トラックフェスタ

万博記念公園お祭り広場に於いて、トラックフェスタが開催されました。コロナ禍の影響で、去年・一昨年と中止となり3年ぶりとなった当日は天候にも恵まれ、穏やかな秋晴れの中、終日大盛況でした。沢山の露店に加え、パトカーや白バイの展示もあり子ども達も大喜びで、当支部の青年協議会が出展した「ミニSL・きかんしゃトーホク」も子ども達に大人気でした。(Y.K)



◆11・12 運行管理者等実務者「勉強会」



於) ホテルモントレー ラ・スール大阪 2階「彩華」

2022年11月12日、運行管理者等実務者の知識向上とスキルアップを図るべく「勉強会」を実施しました(31社・42人出席)。事例から学ぶ危機管理能力・ドライバー教育編をテーマにTM安全企画代表の丸山利明氏に指導頂いた後、情報交換を兼ねた交流会も開催。今回の主な指導内容は、自動車の積載制限の緩和や高齢ドライバーへの運転機能検査の導入等の昨年の法改正の他、非接触事故の実例、車両トラブル時の対処、2019年の京急踏切事故を実例にしたトラックドライバーに要求される危機管理能力等。

運行管理者等実務者として実践すべきドライバーへの指導のポイントについて、昨年同様に短時間で学ぶことができました。(K.N)

◆12・23 交野市と防災協定を締結!



山本市長

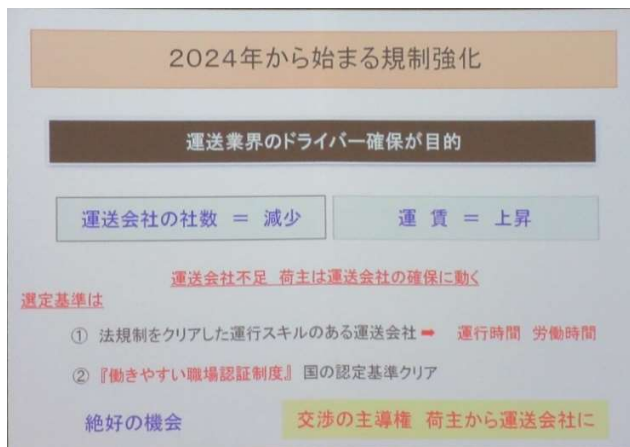
中島支部長

東北支部は、枚方市、大東市、門真市、守口市に続いて、昨年の12/23に交野市と「災害時における物資の自動車輸送に関する協定」を締結した。この協定は、交野市における災害発生時に(一社)大阪府トラック協会・東北支部と交野市が緊密な協力をし、食料、生活必需品、医薬品、防災資機材等の物資の緊急輸送体制を確保することにより、被害の防止又は軽減を図ることを目的とし締結されたものである。トラックは生活と経済のライフライン、日常生活においては勿論、災害等の緊急時においても、その重い使命を果たさなければならない。(K.N)

3支部(東北・中央・北大阪)合同で、「経営者研修会」を開催！！

昨年の10/21(金)大阪府トラック総合会館6Fに於いて、(株)ブリックスの宇野栄一氏を講師として「**運送会社の働き方改革(2024年・960時間問題)対応～未払い残業代請求対策と時間管理～**」をテーマに3支部共催で90分のセミナーを開催(出席:51社)しました。

下記は、セミナーの中で示して頂いたパワーポイントの1枚で、主な提言は以下の3つです・・・



- (1) 960時間対策については、デジタコのデーターを最大限に活用し、乗務員の時間管理を、2024年4月に向けて確実にを行うことが大事。
- (2) 未払い請求については、請求者側弁護士もノウハウを蓄積し、根拠のない各種手当については、非常に危険なので、確実に法律上の理論を元に賃金規定を考えることが大事。
- (3) 入社時の各種契約書については、就業規則・賃金規定・雇用契約書等に問題がないのか事前に調べておくことが大事。

セミナーでは、かなり生々しい事例も紹介されたが、2024年問題をピンチではなくチャンスと捉え、この機会に管理業務の徹底を行い、両道環境を整えることが今後の勝ち組になる秘訣になる、と講師の宇野氏は締め括られた。(A.M)

◆北河内地区会員状況 全322社

— 令和4年12月31日現在 —

守口・門真ブロック	123社
寝屋川・枚方・交野ブロック	127社
大東・四條畷ブロック	72社

◆各自治体の燃料高騰対策支援金は？

トップページでお伝えした茨木市の他にも「地方創生臨時交付金」を利用した支援を発表しているのは、太子町・高槻市・和泉市・岸和田市・泉南市・泉佐野市です。申請や期限等詳細は、物価高騰対策として支援を発表した5自治体も含め大阪府トラック協会のHPの**支援金 TOPICS**にてご確認ください！